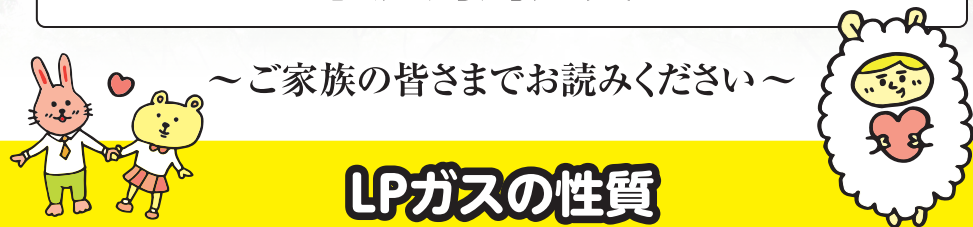


知って安心!!クリーンエネルギーLPガス

LPガスをご家庭でお使いになるお客さまへ

LPガスを安心・快適に お使いいただくために

家庭用周知文書



～ご家族の皆さまでお読みください～

LPガスの性質

① 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重く、もれると低いところから物かげにたまる性質があります。もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

③ ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるようにガス特有の臭い(異臭)をつけてあります。



② 液化した状態で 容器(ボンベ)に入っている

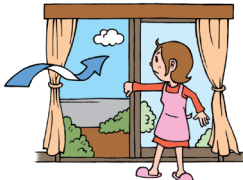
LPガスは圧力をかけて液化した状態でLPガス容器(ボンベ)にはいっています。

④ クリーンなガス

LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、クリーンなエネルギーであると位置づけられています。また、LPガスには人体に有害なCO(一酸化炭素)は入っていません。

⑤ 燃焼には新鮮かつ、たくさんの空気が必要

LPガスが燃焼するためには新鮮かつ、たくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こしCO(一酸化炭素)が発生しますので十分注意してください。

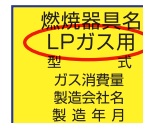


知って安心!! クリーンエネルギーLPガスをご家庭でお使いになる皆様へ

家庭用周知文書

ガス機器をご使用の際はご確認ください

- LPガスには、必ずLPガス用機器をご使用ください。都市ガス用機器は使用できません。
- LPガス用機器は全国共通です。
- ガス機器は、取扱説明書をよく読んでから、正しくご使用ください。
- ガス機器の保証書は大切に保管してください。
- 古いガス機器はリコール(修理・回収)対象機器になっている場合があります。当社または製造メーカーに確認してください。



日頃お使いになるガス機器の安全管理は、ご自身の手で責任をもって行ってください

- いつもLPガスを安心・快適にお使いいただくために、LPガスおよびガス機器などについて正しいご理解をいただくことが大切です。
- ガス機器の性能、正しい使用方法、お手入れの方法、保管方法などは取扱説明書や警告表示などをご確認の上、正しくご使用ください。

供給設備とは?

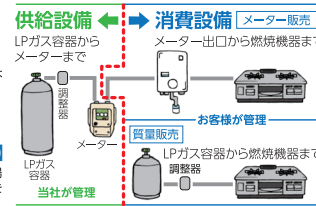
供給設備【当社が責任を持って管理します】

LPガス容器(ボンベ)からガスメーターまでは、供給設備といえます。この部分は当社が責任を持って安全管理します。

消費設備とは?

消費設備【お客様に責任を持って管理していただきます】

マイコンメーターの出口からコンロ、湯沸器などの機器まで(メーターのない場合は容器からガス機器まで)は、消費設備と呼ばれ、法律上の管理責任はガスをお使いのお客様にあります。



私たち(株)エナキスでは、保安機関として認定を受けたLPガス販売店として、液化石油ガス法に基づき、次のような点検・調査を行います。

容器交換のつど	LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給設備などの外観点検。
1年に1回以上	地下室等の配管からのガス漏れ調査など。
4年に1回以上	調整器の機能点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備の調査など、ガス設備全般についての点検・調査。

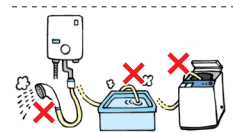
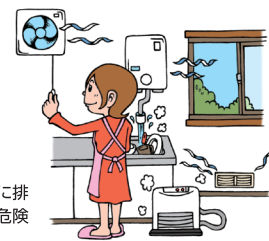
※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や機器の交換などにご協力ください。

小型湯沸器やガストーブをご使用のみなさまへ

必ず換気(給気と排気)してください。

※過去に換気不足によりCO(一酸化炭素)中毒を起こし、死に至った事故事例があります。

- 室内でガス機器を使用するときは、換気扇を回したり、ときどき窓を開けて十分に換気をしてください。(冷暖房中も忘れずに)
- ※ガスの燃焼には新鮮かつたくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われず酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害なCO(一酸化炭素)が発生する恐れがあるため、たいへん危険ですので、十分な換気をしてください。
- ※点火時やご使用中に火が消える場合は、安全装置が作動している可能性がありますので、再点火は行わないで直ちに使用を中止し、ガス機器の購入先や当社または保安機関にご連絡ください。
- 排気のフィンが、ほりなどで目詰まりしていないか確認してください。
- 小型湯沸器をお風呂に使ったり、シャワーとして使用することは絶対におやめください。
- 室内でガストーブ、ガスファンヒーターを使用するときは、1時間に1～2回窓を開けて換気してください。



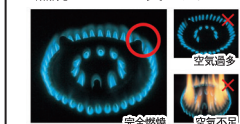
自然排気式の風呂がまをご使用の方に

- 自然排気式(煙突の付いたもの)の風呂がまをご使用の際は、換気扇を使用しないでください。(気圧の変化により排ガスが逆流してCO(一酸化炭素)中毒を起こすことがあります)
- 排気筒がこわれていたり、鳥の巣などでふさがれてしまうと適切な排気が出来なくなります。こまめに点検しましょう。



いつも青い炎でお使いください

- ガスをお使いのときは、炎は必ず「青い炎」でお使いください。赤っぽい炎は不完全燃焼をしている炎です。



ガス器具のお手入れ お願い!!
ガスコンロなどの目づまりは、不完全燃焼の原因となります。ときどき器具用ブラシなどで掃除してください。ガス機器(ガスコンロなど)のお手入れなどで、ネジなどを取り外す必要がある場合は、必ず当社にご連絡ください。

点火・消火は必ず目で確かめてください

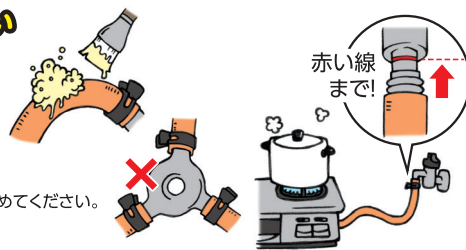
- ガス機器の近くに、燃えやすいものは置かないでください。
- マッチ等にて点火する場合には、点火後器具栓を開いてください。
- 風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあります。たいへん危険です。ガスを使っているときは、その場を離れないようにしてください。火を使っている間は「何があっても、その場を離れない」ということを心がけてください。

やむを得ずその場を離れる場合は、火を消して安全を確認してください。



ゴム管はときどき点検し、早めに交換してください

- ガス栓に適合するLPガス用ゴム管または専用ホースを使用してください。
 - ゴム管は、過度に長いものを使用しないでください。
 - ひび割れや焼け焦げなどが発生しているゴム管は使用しないでください。
- ※ゴム管からのガスもれの点検は、石けん水を塗り泡が出るかでわかります。
(泡が出た場合は、すぐに新しいゴム管に取り替えてください。)
また点検後はきれいに拭き取ってください。
- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
 - ゴム管は、物かげを通したり、折り曲げたりしないでください。
 - 三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。



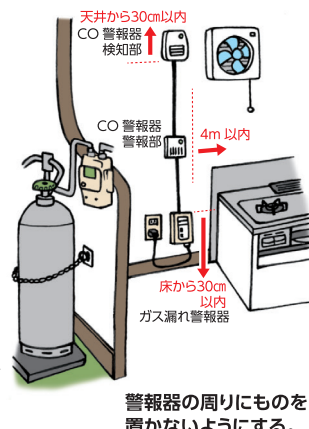
ガスもれ防止のため、湯沸器や風呂がまなどの固定式の燃焼機器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。
お客様自身での接続はせず、必ずエナキスまでご連絡ください。

着脱が簡単で確実なコンセント型のホースをおすすめします。

ガス警報器のご使用にあたって

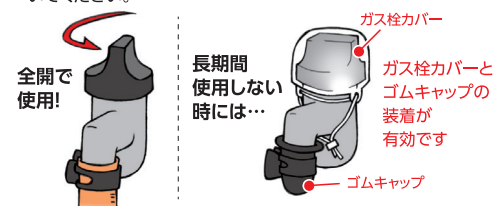
- 警報器が適切な位置に設置されているかを確認しましょう。
- 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- 警報器の周りに物を置かないようにしましょう。
- 警報器が交換期限内のものかを確認しましょう。

※共同住宅、学校、病院などの人が多く集まる施設、地下室に燃焼機器が設置されている場合には、原則として法律によりガス警報器(LPガス用)の設置が義務付けられています。



ガス栓は、使用時には全開で、使用後は完全に閉めてください

- ガスをお使いになるときは、ガス栓を全開にしてお使いください。また、お使いにならない場合は完全に閉めてください。
- 外出するときやおやすみ前には、ガス栓、器具栓が閉まっていることを確認してください。
- 長期間ご不在になるときは、容器バルブを閉め、当社にご連絡ください。
- 配管やガス栓をアースの代わりに使用しないでください。
- ガス機器(こころなど)に接続されていないガス栓は絶対に開けないでください。



災害時の対策は 自分の身を守りましょう

地震のときは

揺れがおさまるのを待ってからガス栓・器具栓を閉め(火をすべて消し)、揺れが大きかった時は、屋外の容器バルブも閉めてください。

災害のときに容器バルブを閉めることで、二次災害の防止に役立ちます。容器バルブを閉めるときは、時計と同じ右に回すと閉まります。

- ※電気のブレーカーも落としてください。
- ※異常があった場合は至急、当社または保安機関へ氏名・住所・状況をお知らせしてください。
- ※再びガスを使うときは、必ず当社または保安機関の点検を受けてからお使いください。

火災のときは

容器バルブを閉め、消防署員または消火にあたる人に容器の位置を知らせ、後の処理を頼んでください。



台風・洪水の恐れがあるときは

容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないか、しっかりと固定されているか確かめてください。



災害にも強いLPガス

これまで地震などの大規模な災害において、どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。その中でLPガスは復旧の早さや避難所などにすぐに対応してきたことなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。このようにLPガスは「災害にも強い」ことが実証されています。

特に雪の多い地方の対策

- 雪下ろし…雪下ろしの際は、ガス設備に損傷を与えないように十分注意してください。
- 雪囲いや容器収納庫の設置…雪により容器が埋まったり、屋根からの落雪や雪下ろし等で調整器や配管・メータなどが壊れる恐れがあるため、雪囲いや容器収納庫を設置してください。また、雪囲いや容器収納庫の周りは除雪してください。
- 排気筒(煙突)の補強…排気筒(煙突)は丈夫な支柱で補強してください。



小型容器の取扱いについて

- 容器が倒れないよう、平らな場所に置いてください。
- 直射日光や火気を避けてご使用ください。
- 容器は、火の気のない風通しの良い屋外に保管してください。
- 容器を横に寝かせて使用しないでください。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めてください。
- 不要になった容器は、必ずLPガス販売店に返却してください。

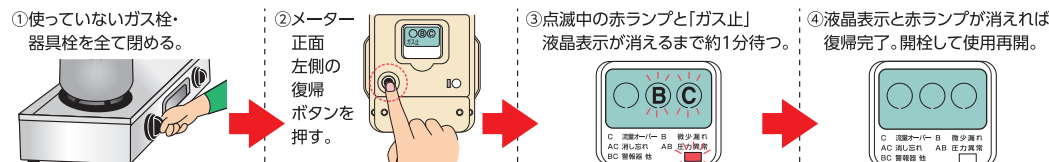
※LPガスが残っている容器をゴミとして捨てると、収集車や処理場でガス爆発などの災害を招き、とても危険です。また、捨てた場合は法律により罰せられます。

小型容器



マイコンメーターの復帰方法

- 復帰ボタンを押してすぐ離す。そして約1分間待つ。※器具栓を全て閉めて、使っていないガス栓が閉まっていることを確認して復帰ボタンを押してください。
- 赤いランプと液晶が点滅します。ガスもれがないかマイコンメーターが安全確認を行いますので約1分間お待ちください。異常が無ければ、赤いランプの点滅と液晶の文字が消えます。これで復帰が完了となりますので、開栓してお使いください。(復帰しない場合は、復帰を繰り返さず当社に連絡し、点検を受けてください。)



もしも ガスがもれたら!!

ガスの臭いに気づいたら 警報器が鳴ったら

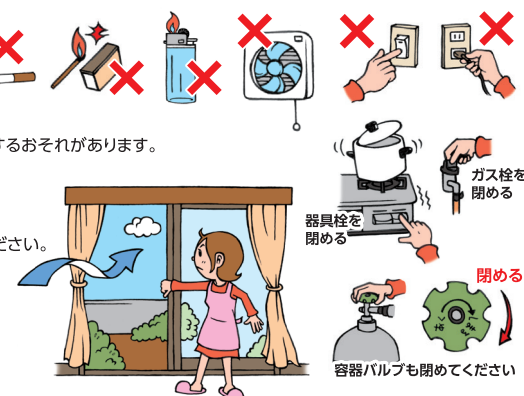
- 室内の火は全部消してください。
- コンセントやスイッチに触れないでください。火花が出てガスに着火するおそれがあります。

ガスを外に追い出して

- 戸や窓を大きく開けてください。
- ※LPガスは空気より重いので、低いところにたまりますのでご注意ください。
- すべてのガス栓、器具栓を閉めて下さい。

当社または保安機関に連絡してください

- 連絡の際は氏名・住所・状況などをお知らせください。
- 当社または保安機関の点検を受けるまでガスを使わないでください。
- ※万が一、LPガスによる災害が発生した場合にも連絡してください。



こんな時は当社にご連絡ください

- LPガス設備の工事や、新しいガス器具の取り付けや取り外しを行うとき。
- 新築・改装・転居などで、新しくLPガスを使用するとき、または、やめるとき。
- ガス以外の工事(水道工事など)を行うとき。
- ストーブなどの季節的機器で、取り付け・取り外しが困難なとき。

※配管、風呂がま、給湯器、煙突などにかかる工事を行うときは法律上の資格が必要です。
※風呂がまや湯沸器の中には給気口や排気設備が必要な機種があります。

お近くの
支店・
営業所へ



安心の24時間・365日体制